



普段着の私



薬剤部 出崎 美穂子

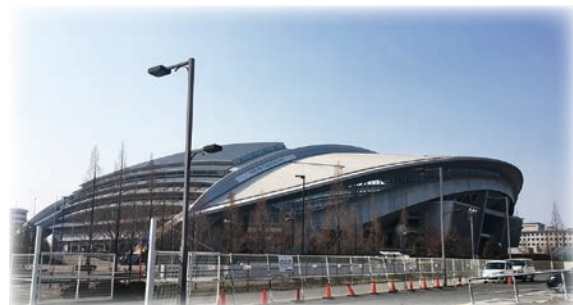


私のリフレッシュはスポーツ観戦です。サッカー、ラグビーなど地元のクラブや選手を応援しています。中でも一番はサッカーでヴィッセル神戸が大好きです。広々としたスタジアムで友人達や大勢の神戸サポーターと共に応援するのはテレビ観戦よりもテンションが上がりワクワクドキドキします。試合開始前のサッカー談義も楽しみの一つです。ホームのノエビアスタジアムには可動屋根があるので雨でも気になりませんし、神戸牛のステーキやインド料理の屋台そしてパールなどが出ておりちょっとしたグルメも楽しめるお気に入りのスタジアムです。

ヴィッセル神戸はチームが始動した初日に阪神淡路大震災が起きました。チームの歩みは震災からの復興と

重なっています。震災から 25 年無冠でしたが、インiesta選手をはじめ日本代表のスター選手が加入したこともあり、令和になって初めての天皇杯でタイトルをとることができました。しかも柿落としの新国立競技場が会場だったこともあり喜びも一入でした。

今世界は感染症との戦いの中にあり不安や心配な事がたくさんあり毎日が大変ですが、いつかまた観戦出来る日常が戻ってきたら華麗な技や熱いプレーで再びファンを魅了してくれると思います。その日が1日も早く来ますように心から願っています。



部署紹介 薬剤部

薬剤部では、3名の薬剤師が患者の皆様の治療に大切なお薬の管理と調剤をしています。

薬剤師・・・聞きはするけど、実際は何をしているのかよく知らないという方は多いのではないのでしょうか。当院では院内調剤を採用しており、**外来患者の皆様のお薬もすべて当院の薬局で調剤しております。**

外来のお薬の場合、電子カルテを使い医師が診察室で処方を入力するとすぐに薬剤部へ処方箋データが送られてきます。1つ1つが皆様の治療に大切なお薬ですので、しっかりとした確認が必要となります。性別、年齢、アレルギーの有無、肝臓・腎臓の数値、前回の処方内容は？などなどを参考にお薬の種類、飲む量、飲み方などを確認していきます。さらに患者の皆様が通院しているのが当院だけとは限りません。ここで活躍するのが**お薬手帳**です。ほかの病院のお薬との飲み合わせは勿論、同じ様なお薬が出ていないかなど確認します。特に最近ではジェネリック医薬品が浸透してきたこともあり、名前が違っても実は同じお薬であることが意外にあります。**お薬手帳はご家族で共有せず！病院ごとに分けず！お一人一冊ずつお持ちいただくことをお勧めします。**(災害時にも役立ちます！)

こうして確認しているときにおやっと思うことが出てくると、医師に確かめる必要があります。疑義照会『処方せん中に疑わしい点(疑義)があるときは、その処方を書いた医師等に問い合わせて確かめた(照会)後でなければ調剤してはならない。』これは法律で定められた薬

剤師の義務です。(薬剤師法第24条)また、必要に応じてお薬の一包化や粉砕を行っています。そんなこんなと調剤室で行い、最後に最終確認をし、初めて皆様にお薬をお渡しできます。

できるだけ待ち時間は短く、と一同懸命に頑張っていますが、時には長時間お待たせしてしまうこともあり、大変申し訳なく思っております。患者の皆様の治療を安全に行うためご理解をよろしくお願いいたします。

病棟業務では入院患者の皆様のお薬について、担当薬剤師が処方内容を確認し、また、直接お話を伺うことでアレルギーや副作用などを防止し、治療がスムーズに、かつ、より良い治療効果が上がるように薬剤管理指導を行っています。他にも注射調剤、医薬品の品質管理、医薬品情報管理・発信、チーム医療への参加、パーキンソン病教室等を行い患者の皆様へ効果的な医療が提供できるように努めております。

お薬のことでご相談があればお気軽にお声がけください！



リハビリテーション西播磨病院だより

ひかりの都

2020年
5月発行



春想志新

院長 加藤 順一



新年度を迎え、光都の草木も緑芽が日増しに濃くなり、風薫る季節となりました。西播磨病院は、平成18年の開院以来、今年で14回目の春を迎えることになります。リハビリ医療に特化した県立病院として西播磨や中播磨を中心に多くの患者さまにご利用いただいております。現在ではリハビリ専門病院として県民の皆さまに定着しつつあります。

西播磨病院では、先進的かつ安心なリハビリ医療の提供をめざし、地域とともに歩み成長するという運営理念のもと、職員一同さらに邁進する所存です。脳卒中や整形外科の術後などの回復期リハビリ治療やパーキンソン病・神経筋疾患など神経難病のリハビリ医療は勿論のこと、脊髄障害による四肢まひなど、他の病院では取り組みにくい疾患のリハビリにも更に力を注いでいく予定です。また、認知症患者とそのご家族へのサポート体制として、認知症疾患医療センターにおきまして行政機関・近隣の医療機関および在宅介護領域との協力のもと、リハビリ医療と介護サポート支援の相談窓口として西播磨における認知症の診療の中核をより一層担う所存です。当院を退院後に介護を要し在宅生活されている方々に対して、介護保険による通所リハビリ事業を実施していますが、身体および生活機能を維持し、安心して住みなれた地域で生活いただけるよう一層努力して参ります。

また、年2回の病院ロビーコンサートやクリスマス会などの催しならびに当センターにおいて秋に実施される「ふれあいリハフェスタ」や「県民公開講座」など数々の行事を計画しており、さまざまな機会を通して病院・センターを訪れて頂きたいと思っております。今年度も、西播磨病院への県民の皆さまのご理解とご支援をお願いいたしますとともに、職員一同より良いリハビリ医療に貢献できるよう研鑽する所存です。

新任職員のご紹介（順不同）

●リハビリ療法部

【理学療法士】



長尾 亜希子

患者様が住み慣れた場所で、元気に過ごせる手助けができるような理学療法士を目指して精一杯頑張ります。これから宜しくお願いします。



児嶋 大哲

患者様の要望に応えられるように、日々努力し質の良い治療を提供できるようにしていきます。よろしくお願い致します。



【作業療法士】



新井 みのり

自然豊かな西播磨リハビリテーション病院で働けることを嬉しく思います。患者様のお役に立てるよう日々学び、精一杯頑張っていこうと思います。よろしくお願いいたします。



山本 結香

地域や西播磨病院の一員として貢献できるよう頑張ります。そのためにも日々成長できるよう笑顔で、前向きに取り組みます。よろしくお願いいたします。

●看護部

【看護師】



大裏 理奈

患者さんに寄り添える看護師になれるよう頑張ります。



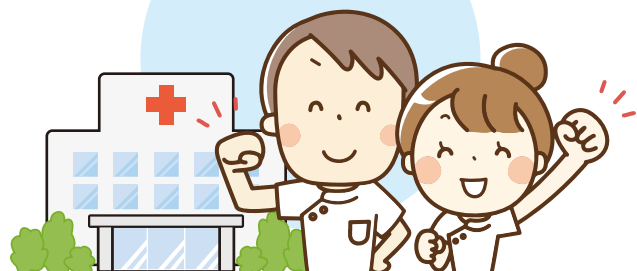
中塚 優菜

私は患者様お一人おひとりに誠実に関わりリハビリに集中して取り組んでいただけるよう環境を整え、看護師の視点から在宅復帰のために必要なことは何かを考え、その方を支援できるようになりたいと考えております。一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。



福本 風花

患者様一人ひとりのその人らしい生活の再構築を目指して、まだまだ勉強することばかりですが、笑顔と思いやりの心を忘れず頑張ります。



ふれあいスポーツ交流館について

令和2年の夏から秋にかけて全世界中の人々がとても楽しみにしていた「東京オリンピック・パラリンピック」が新型コロナウイルスの影響で残念ながら延期となり、がっかりしているのではないのでしょうか。しかし、中止でなかったことが救いですね。

ところで、みなさん「ふれあいスポーツ交流館」を知っていますか？

名前は聞いたことはあるが行ったことがないという方が多いと思います。

西播磨病院から研修交流センターを抜けると斜め右前方にある建物が「ふれあいスポーツ交流館」です。アリーナ（体育館）・プール・トレーニング室・芝生広場があり、どなたでも利用することができます。ただし、隣接する西はりま特別支援学校との共同利用となり、アリーナとプールは授業を優先的に使用されているため、利用に若干の制限がかかりますが、トレーニング室は常時利用が可能です。



例えば、ご家族の方がリハビリを行っている待ち時間を利用してトレーニング室やプール等で気持ちいい汗を流したりするのもいいのではないのでしょうか。



また、障害児者や中高齢者を対象とした教室や大会も開催しています。特に中高齢の方の利用が多く、加齢とともに低下していく筋力を鍛えるには最適な施設となっておりますので、お気軽にお越しください。短時間でも体を動かしてみることをお勧めします。



“おんせん”と“うまいもん”でおもてなし
山陰浜坂の爽やかな春を満喫！

特別会席プラン
平日1泊2食付 1室2名様利用
大人お一人様(65歳以上の方) 13,950円～(税込)

その他、いろいろなプランがございます。
詳しくはHPをご覧ください！

露天風呂が好評
いただいております



浜坂温泉保養荘

TEL (0796) 82-3645

〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775
http://www.hamasaka-ni.com/

